

### 本会議質疑より

◎令和5年度白石市一般会計  
予算

〔質疑〕令和5年度の予算編成に当たっての所感を伺う。

〔答弁〕令和5年度は、公立刈田綜合病院が市立病院として新たなスタートを切るとともに、4月から小中一貫の不登校特別校「白石きぼう学園」が開校する。第六次白石市総合計画に掲げる「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろい」という大きな将来像の実現に向け、新たなスタートを切る大きな1年になると考える。

人口減少、少子高齢化など積る課題に積極的にチャレンジするとともに、市民の暮らしを守り、新たな社会経済の確立を推進できるよう全力で取り組んでいく。

〔質疑〕不登校特別校の開校に当たり、改めて教育長の意気込みや思いを伺う。

少子化にあっても不登校の子どもは増加傾向にあり、市内外、県外からもこの学校に入りたいとの問い合わせがほぼ毎日のようにある。4月に開校する「白石きぼう学園」が、不登校の子どもたちにとって居場所の一つになればと考える。

入ってよかった、通わせてよかったと思えるような学校を目指し、今後も努力を続けていきたいと考える。

◎令和4年度白石市病院事業  
会計予算

〔質疑〕給与と特例措置交付金の算定基準について伺う。

〔答弁〕令和5年3月31日まで公立刈田綜合病院に勤務した医師を除く正規職員のうち、引き続き指定管理者に採用された正規職員を対象とし、退職時給与と就職後給与（給料＋固定的手当）との差額をもとに積算する。

令和5年度は差額の100%、令和6年度は75%、令和7年度は50%の保障を考えている。

### 予算審査特別委員会

第27号議案・令和4年度白石市病院事業会計予算から第40号議案・令和5年度白石市病院事業会計予算までの計14議案について、定例会2日目（2月27日）の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・平間知一、副委員長・佐藤秀行）は、2月28日に現地を調査し、3月2日までの3日間にわたり審査を行いました。

その結果、第34号議案・令和5年度白石市一般会計予算および第35号議案・令和5年度白石市国民健康保険特別会計予算については、反対の討論があり、採決の結果、いずれの議案も賛成多数で可決、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和4年度白石市病院事業  
会計予算

〔質疑〕診療科目としてどのようなものが地域医療確保交付金の対象となるのか伺う。

〔答弁〕周産期医療や小児科医療等、地域医療の不採算部門が対象である。地域医療の機能確保のため、分娩が行われる体制の確保が整ったことを条件に交付したいと考えている。

◎令和4年度白石市国民健康  
保険特別会計補正予算  
（第5号）

〔質疑〕国民健康保険税の歳入が減額となっているが、被保険者の状況を伺う。

〔答弁〕令和4年12月末現在の被保険者数は4千741世帯・7千57人で、令和3年度末と比較すると142世帯・286人の減となっている。

### 総務費

◎令和5年度白石市一般会計  
予算

〔質疑〕文書広報配布・行政事務連絡等委託料について、自治会長が受け取る手数料は、所得税の課税対象となる場合があると考えられるが、この取り扱いに対する市の考えや対応を伺う。

〔答弁〕市は白石市自治会連合会と業務委託契約を結び、毎月の広報紙や文書等の配布、事務連絡等の業務を委託している。

市は、これまでも自治会連合会に対し、自治会長が受け取る手数料について、適切な取り扱いをお願いしているところである。

〔質疑〕本年3月31日から休館するスパシユランドしろいの施設管理委託料に1千500万円が計上されているが、内容を伺う。

〔答弁〕施設管理委託の主な内容は、火災報知機等の消防設備保守点検費用、浄化槽等衛